

## 第 90 回大阪地方メーデー宣言

私たちは本日、連合大阪に集う、働く仲間が結集し、記念すべき「第 90 回大阪地方メーデー」を開催した。

メーデーは、1886 年 5 月 1 日に米国の労働者が 1 日 8 時間労働を求めてゼネストに起ち上がったことを起源とする。日本では 1920 年に第 1 回が開催されて以降、様々な困難を乗り越え、本日、90 回目の開催に至った。私たちは、労働者の地位や労働条件の向上、民主主義の発展など、これまで進めてきた取り組みをさらに深めるとともに、次代に向けて、つないでいかなければならない。

東日本大震災から 8 年が経過したが、自然の猛威は年々激しさを増し、日本各地に甚大な被害をもたらしている。昨年、この大阪の地も、大阪北部地震、台風、豪雨によって大きな被害を受けた。今なお多くの人たちが、不自由な生活を強いられていることを忘れてはならない。南海トラフ巨大地震の発生も予測される中、連合大阪は、防災・減災の取り組みとあわせて、被災地の復興・創生に向け、震災を風化させないような幅広い運動を展開していく。

我が国では、超少子高齢化・人口減少と相まって、経済、社会保障、財政の持続可能性への不安感が高まっている。また、非正規雇用労働者数は増加し、貧困の固定化と格差の深刻化も進行している。このような中、今年 4 月に施行された働き方改革関連法の確実な実施とともに、国民全体へ早期に浸透させることが求められている。春季生活闘争で掲げた「すべての働く者の処遇改善」を社会全体に波及させ、誰もが健やかで安心して働き続けることができる社会を創り出そう！！ そのためにも、国連が掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」を視野に、すべての人が人間らしく働くことができるディーセントワークの実現と、持続可能で包摂的な社会の構築に向けた取り組みを進めて行こう！！

連合大阪は、今年結成 30 年を迎える。大阪では、6 月に G20 サミット、2025 年には 55 年ぶりの万博が開催される。大阪への国際的な注目が高まる中、私たちは、政府・行政、関係諸団体、NPO・NGO との連携を一層深め、大阪の持続可能な発展に向けて取り組まなければならない。

私たちは、メーデーを通じて、すべての仲間と連帯することの大切さを見つめなおし、「働くことを軸とする安心社会の実現」に向けて全力を挙げて取り組むことをここに宣言する。

2019 年 4 月 27 日  
第 90 回大阪地方メーデー